

◇公開シンポジウム「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」の開催について(ご案内)

◇日本学術会議公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2016 知の統合を如何に達成するか - 総合工学の方向性を探る -」開催のお知らせ

公開シンポジウム「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」の開催について(ご案内)

地方創生のかげ声の下、地域産業の競争力強化による地方の活性化、さらには、その中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が推進されている。また、第5期科学技術基本計画の4本の柱のひとつに、企業・大学・公的研究機関の本格的連携とベンチャー企業の創出強化等を通じたイノベーションを生み出すシステムの構築が挙げられており、「地方における産官学連携によるイノベーション創出」は、わが国全体の活性化において重要な意味を持つものと考えられる。ただし、これらの取り組みは、一朝一夕に結果が出るものではないため、長期的ビジョンを共有した世代間連携により、持続的に推進されるべきである。本シンポジウムでは、愛媛における地方創生とイノベーションに焦点をあて、産官学の協働と10年後を視野に入れた展望を議論する。

◆主催：日本学術会議若手アカデミーイノベーションに向けた社会連携分科会、若手アカデミー運営分科会

◆共催：愛媛大学

◆日時：平成28年7月26日(火) 13:30~16:30

◆会場：愛媛大学 南加記念ホール

◆プログラム

総合司会：高山弘太郎(日本学術会議連携会員、

愛媛大学大学院農学研究科准教授)

13:30 【シンポジウムの開催にあたって】

吉田丈人 (日本学術会議連携会員、
東京大学総合文化研究科広域システム科学系准教授)

13:35 【開会の挨拶】

大橋裕一 (愛媛大学長)

13:45 【基調講演】

「地域産業イノベーションの創出 ―地域創生への愛媛大学の取組―」
仁科弘重 (愛媛大学 理事・副学長・社会連携推進機構長、
植物工場研究センター長、大学院農学研究科教授)

【事例紹介】

14:10 事例1 [学術] 「地域産業における産学連携～紙産業の事例から～」

内村浩美 (愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長、
大学院農学研究科・社会共創学部教授)

14:25 事例2 [学術] 「産学官連携による機能性食品開発」

菅原卓也 (愛媛大学大学院農学研究科附属食品健康科学研究センター長、
大学院農学研究科教授)

14:40-14:50 休憩

14:50 事例3 [行政] 「愛媛県の取り組み」

関口訓央 (愛媛県経済労働部産業支援局長)

15:05 事例4 [行政] 「産学官連携で実現する『地域創生』のまちづくり」

大久保武 (西条市企画情報部地域創生室総合6次産業都市推進係長)

15:20 事例5 [民間] 「地方における農業 ICT による起業」

遠藤 忍 ((株)テレファーム 代表取締役)

15:35 事例6 [民間] 「産学連携による植物生育診断装置の開発」

岡田英博 (井関農機(株)先端技術部主幹)

15:50 【パネルディスカッション】

司会：吉田丈人 (日本学術会議連携会員、
東京大学総合文化研究科広域システム科学系准教授)

パネラー：講演者と学術会議若手アカデミー会員

16:20 【閉会の挨拶】

狩野光伸（日本学術会議連携会員、
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 副研究科長・教授）

16:30 閉会

*事前申し込み要。参加費無料。

○参加申込HP

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo3/mpmailec/form.cgi>

○シンポジウムポスター

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/229-s-0726.pdf>

日本学術会議公開シンポジウム「総合工学シンポジウム2016 知の統合
を如何に達成するか ― 総合工学の方向性を探る ―」開催のお知らせ

- ◆日時：2016年7月20日（水） 13:00～17:00（受付開始12:30）
- ◆会場：日本学術会議 講堂（東京都港区六本木7-22-34）
- ◆参加費：無料

<プログラム>

13:00-13:10 開会挨拶

花木 啓祐（日本学術会議副会長、東京大学大学院工学系研究科教授）

第I部

13:10-14:00 基調講演 構成科学としての工学（設計科学）

吉川 弘之（日本学術会議栄誉会員、JST 特別顧問）

14:00-14:30 「知の統合」と「知の統合学」をめざして

舘 すすむ（東京大学名誉教授）

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 情報学から見た工学分野の融合について

喜連川 優（日本学術会議第3部会員、国立情報学研究所所長）

15:10-15:40 東日本大震災後の被災地支援研究

似田貝 香門（東京大学名誉教授）

15:40-15:45 休憩

第II部—パネル討論 15:45-16:55

ファシリテータ：吉村 忍（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科副研究科長）

パネリスト：

奥村 次徳（日本学術会議連携会員、東京都立産業技術研究センター理事長）
リーディング大学院“オールラウンド型”の成功事例から

大倉 典子（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学工学部教授）
かわいい人工物の系統的解析の視点から

狩野 光伸（日本学術会議特任連携会員、同若手アカデミー副代表、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

医工連携及び文理融合プロジェクトの経験をもとに

瀬山 倫子（日本学術会議連携会員、同若手アカデミー委員、NTT先端集積デバイス研究所主幹研究員）

ICT向けものづくり産業の視点から

16:55-17:00 閉会挨拶

渡辺美代子（日本学術会議第3部会員、科学技術振興機構副理事）

◆申込要領：

必要事項（氏名・所属・電話番号・E-mail アドレス）をご記入の上、
7月18日までに総合工学シンポジウム事務局（以下のURL）までお申し込みください。

sogo2016-symp@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp

会場での当日受付も承っておりますが、スムーズな受付作業のためご協力ください。

<http://save.sys.t.u-tokyo.ac.jp/sogo2016-symp/>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等へ

の転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34